

いつでも、だれでも
読みたい本が
さがせるように…



市民は、広くて、明るくて
ゆったり過ごせる
図書館が欲しいのに

図書館分割でいいの？

市長は市民になぜ分割が良いのか説明してくれませ
ん。議会で予算が認められたから、それで進めると
いうけれど、20 億円近い税金を使う市民の施設、
このまま進めて良いのでしょうか？

なんと！

しかも 2 年も休館！

- ・子どもの図書コーナーと「暮らし・子育て」（実用書中心？）は市民センター。
- ・新聞・雑誌も市民センター。
- ・一般書や専門書は、駄倉新図書館。
子ども、親子連れも、大人も
2か所に行くことに。
それなのに一般の駐車場はない。
バスの便もない。

図書館は今の場所で充実を！

例
え
ば

市民センターの前面に別棟で2階建を作り渡り廊下などでつなぐ。木造なら再利用可能。「こまえくぼ」は今のまま高架下で。駄倉地域は別計画とする。

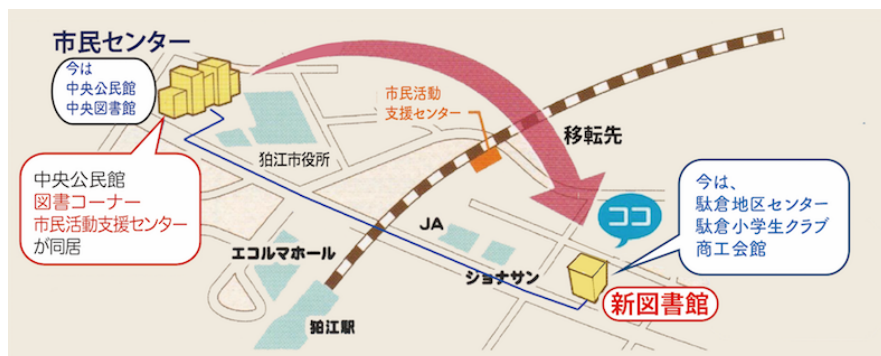
駄倉地域には公民館の一部、若者や働く人のグループ活動やワークスペースを。商工会も入れば起業のサポートとかできるんじゃない？「こまえくぼ」は今のまま高架下で。

発行：ちょっと待って図書館移転！連絡会こまえ
連絡責任者：粕江市中和泉 2-6-12 周東三和子
mshuto2612@kym.biglobe.ne.jp
090-9012-0654
facebook: ちょっと待って図書館移転連絡会こまえ

中身も決め方もおかしい 市民センター改修等の「基本方針」

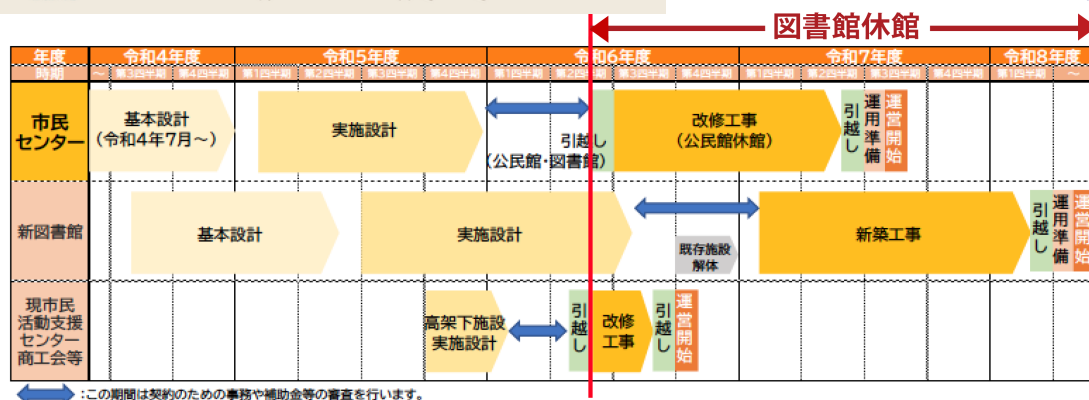
市民が市と協働で作った「市民提案書」とはかけ離れた「基本方針」

狛江市は市民センターの老朽化に伴う改修にあたって、市民と市が協働で1年かけて作った「市民提案書」を基に検討してきたにも関わらず、突然、現在市民センター内にある図書館を分割・移転するという「基本方針」を、市民の意見を聞かずに決定しました。その方針に従って新図書館設置の基本構想をまとめ、計画を先に進めようとしています。新図書館だけでは狭くて、現在の中央図書館の機能を満たすことができないため、新図書館は大人を対象とし、市民センターには子ども向けの図書コーナーとして残す、つまり図書館を分割してしまう計画です。



新図書館は、共有面積を含めた図書館スペースは現在より狭く、敷地の制約で、地上3階・地下1階の狭い建物です。ゆったり本を読んだり、調べたりできる滞在型図書館は困難。ボランティア活動もイベントも市民センターで。

2年間！



市民台意のない「基本方針」

狛江市の「市民参加と市民協働の条例」の第5条には、市民の公共の用に供される大規模な施設の設置に係る基本計画等の策定及びその利用や運営に関する方針、又はそれらの変更については、あらかじめ市民参加の手続きを行わなければならないと定めています。ところが、議会でのやり取りで、「市民センター等改修基本方針」は「市民参加と市民協働の条例」の対象かという質問に**対象である**と答えながら、この件は**条例に則って行われたか**との質問には、**市民の意見は聞いていない**と答えています。「市民参加と市民協働の条例」に反しているのではないかと問えば、市長は**施設を作る場所については市民参加の手続きは必要ない**と答えました。おかしいではありませんか。

どこにどんな施設ができるかは、市民にとって大問題です！市民合意のもとに作られるべきです。

現在地で充実させる方法はある

わざわざ使いにくい分割・移転を行わなくても、狛江市が業者に委託して、「市民提案書」をもとに検討した案の中には、市民センターの前面に別棟を建てる方法（予算同規模、工期1年）、駄倉に建てる新築は主に公民館として使う（予算同じ、工期1年）、市民の会が提案した木造（CLT工法）で縦増築（予算も工期も少ない）などがあり、図書館の現在地での充実が可能です。

20億円近い税金を使って作る市民のための施設です。残念な図書館と市民センターを作ってしまうまいやう、考え直すべきです。

図書館分割で良いの？市民集会（仮称）

10月22日（日） 10時～

中央公民館ホール

主催：ちょっと待って図書館移転連絡会こまえ